

学校環境衛生検査票「換気及び保温等」

学 校 名					天候	
学校担当職員氏名			学校薬剤師氏名			
検 査 日 時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分					
教 室 等 名 称						
場 所	館・棟 階					
容 積	m ³ (縦 m×横 m×高さ m)					
在 室 人 員	人 (児童生徒 人、教職員・検査員 人)					
窓の開放状況	廊下側	全開・一部開・閉		上部の窓の 開放状況	廊下側	全開・一部開・閉
	外側	全開・一部開・閉			外側	全開・一部開・閉
換 気 設 備	有 (恒常的稼動 ・ 随時稼動) ・ 無					
冷・暖房機の 状況	エアコンの使用	有 ・ 無				
	燃焼機器の使用	有 (灯油 ・ ガス ・ 他 ()) ・ 無				
日常点検の結果及びその記録の保存状況					適 ・ 不適	
項 目	測 定 結 果			基 準	外気 (参考)	
換 気 (二酸化炭素) ①授業開始時 ②15分後 ③30分後 ④授業終了時 1回の測定の場合 は④に記入	① ppm			1,500ppm以下であることが望ましい	ppm (外気は400ppm程度)	
	② ppm					
	③ ppm					
	④ ppm					
温 度	℃			18℃以上、28℃以下 ^{※4} であることが望ましい	℃	
相 対 湿 度	%			30%以上、80%以下であることが望ましい	%	
浮遊粉じん ^{※1}	mg/m ³			0.10mg/m ³ 以下であること	/	
気 流 ^{※2}	m/秒			0.5m/秒以下であることが望ましい		
一酸化炭素 ^{※3}	ppm			6ppm以下 ^{※4} であること		
二酸化窒素 ^{※3}	ppm			0.06ppm以下であることが望ましい		
所見欄						

※1 空気の温度、湿度又は流量を調整する設備を使用している教室等以外の教室等は、必要と認める場合に測定する。検査の結果が基準値の1/2以下の場合には、教室等の環境に変化がない限り次回省略可。

※2 空気の温度、湿度又は流量を調整する設備を使用している教室等以外の教室等は、必要と認める場合に測定する。

※3 燃焼器具を使用していない場合に限り、省略できる。

※4 学校環境衛生基準の一部改正により、令和4年4月1日より温度及び一酸化炭素の基準を変更。

(注) 検査機関に依頼した場合は、結果を転記すること。(検査機関名:)